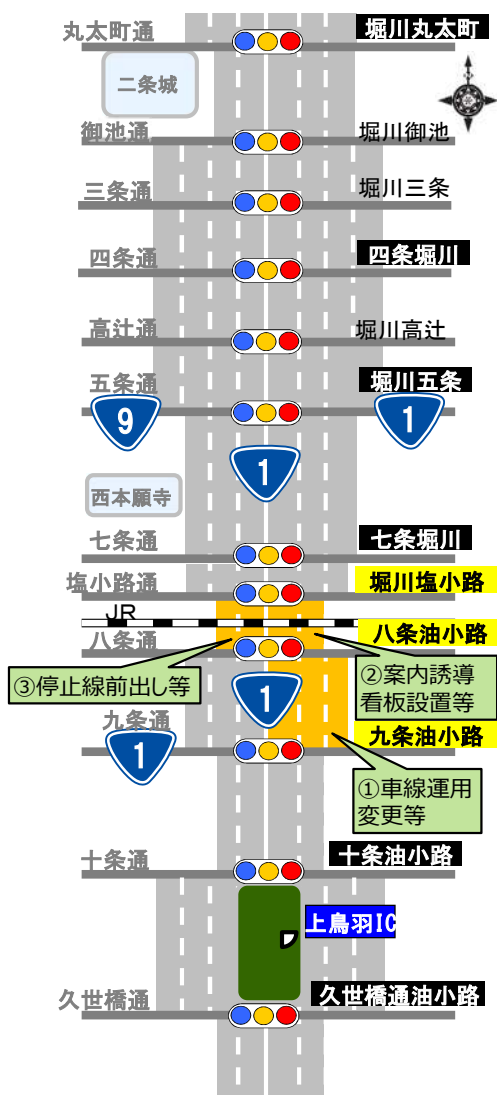


令和7年度 京都府域渋滞対策協議会

堀川通_短期対策の実施状況

1. 堀川通・油小路通の概要(近年の取組)

- 平成30年1月に、「将来道路ネットワーク研究会」が「京都市の将来を見据えた道路ネットワークのあり方(とりまとめ)」を公表。
堀川通の整備は喫緊の課題であるとともに、『まずは**交差点改良等の短期的な対策を進める**』こととされた。
- 市内中心部における南北方向の交通について、JR東海道本線交差部では縦断する路線が減少することに加え、
特に**堀川通では車線数が減少し、ボトルネック**となっている。
- そこで、堀川通・油小路通では継続的に渋滞対策を実施しており、令和2年度までに3箇所の対策を実施済み。



検討経緯・状況

H30

「将来道路ネットワーク研究会」(※事務局:京都市、メンバー:国土交通省、京都府、京都市、学識経験者)

- ・JR東海道本線交差部周辺のボトルネック箇所など、主要渋滞箇所が連続する堀川通でその傾向(容量不足による需要過多)が顕著
- ・堀川通の整備は喫緊の課題であるとともに、『まずは**交差点改良等の短期的な対策を進める**』こととされた

R1

対策①: 九条油小路～八条油小路交差点間(南進)の車線運用見直し

R2

対策②: 八条油小路交差点(南進)の路面標示、案内看板設置、歩行者青時間短縮

対策③: 堀川塩小路交差点(北進)の交差点コンパクト化

R6

短期対策の実施状況と結果を報告 (※令和6年度第1回京都市域渋滞対策協議会)

- ・対策実施により堀川通(八条油小路～九条油小路)で速度が向上
- ・対策前後で速度の改善はみられるが、**速度の低下区間や時間帯は残存**

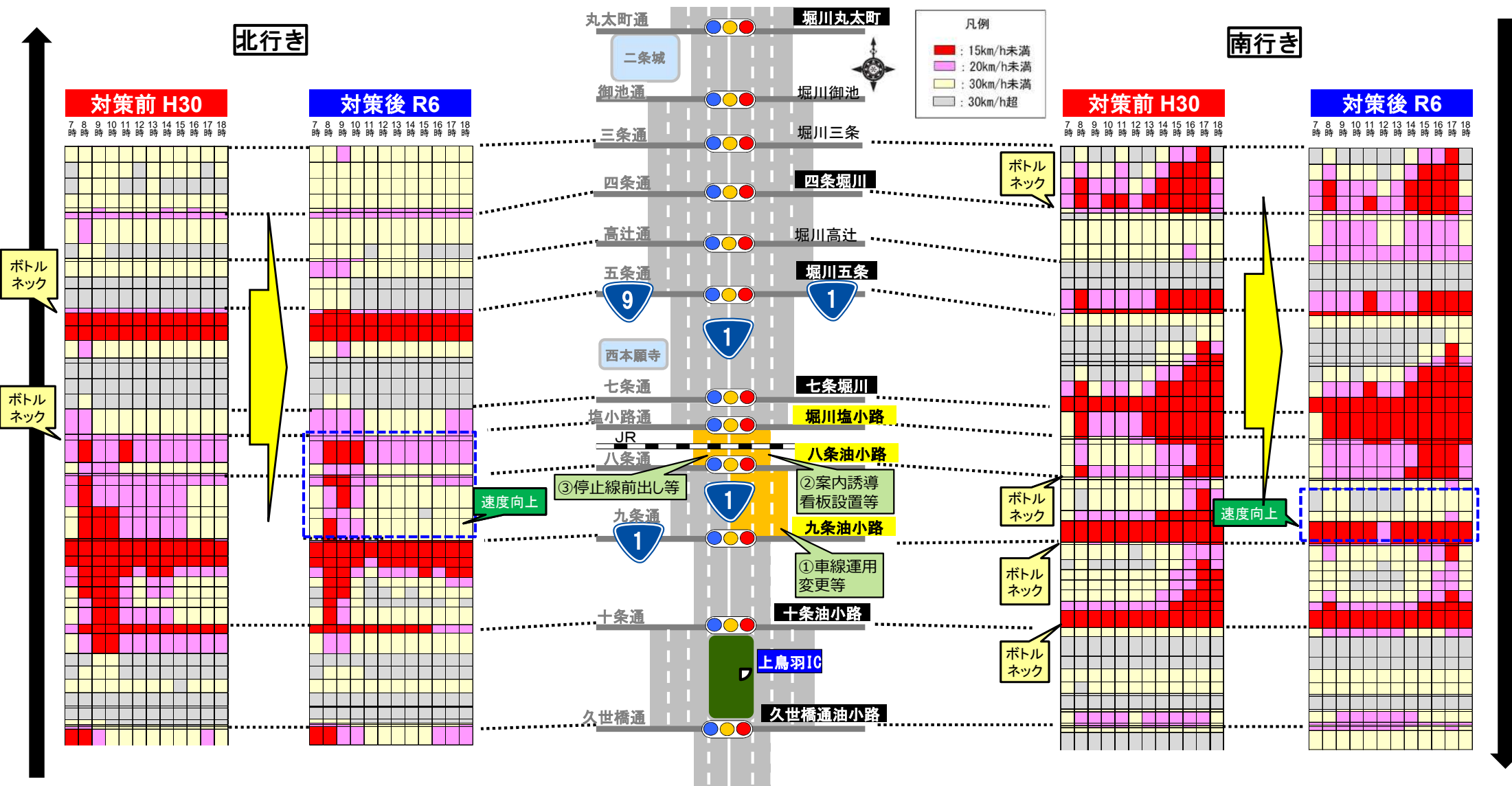
R7～

短期対策の効果検証およびさらなる対策の検討

- ・対策後の効果検証に必要な交通データの収集および渋滞要因分析
- ・最新の交通状況を確認しながら、さらなる渋滞対策実施に向けた検討を継続

2. 堀川通・油小路通の交通状況

- 令和元年～令和2年に実施した短期対策により、北行は堀川塩小路交差点流入部、南行きは九条油小路交差点流入部の平均旅行速度が向上。
- 対策実施前後で速度の改善は見られるが、速度の低下区間や時間帯は残存しており、今後も引き続き速度低下緩和・解消に向けた検討が必要。



出典)ETC2.0プローブデータ 対策前: H30. 9 ~ 11(平日12時間 7時~19時) 対策後: R6. 9 ~ 11(平日12時間 7時~19時)

3. 堀川通・油小路通の交通データ収集状況

- 速度低下の要因について、現地での状況をより詳細に把握するため、令和6年度にビデオ調査を実施。
- 令和元年～令和2年に実施した短期対策により、堀川通（八条油小路～九条油小路）の整流化が図られ、対策実施区間での後続車に影響する車線変更が減少していることが確認できた。
- 一方で、依然として後続車阻害が残存する区間があるなど、課題についても確認されたため、今後はビデオ調査結果の分析および、分析結果を踏まえた検討を進める。

◆ビデオ調査概要

- ＜調査実施日＞ 令和6年10月8日（火） 7時～19時（12時間調査）
- ＜調査方法＞ 対象交差点の歩道橋上・歩道上にビデオカメラを設置し、渋滞状況を撮影。

◆後続車阻害発生状況例



【交通状況】

- ✓ 右直車線(1.5車線)で、右折車の待機位置により、後続車両の進行阻害が発生



【交通状況】

- ✓ ホテルや商業施設が立地しているため、観光バス、タクシーをはじめとした路上駐停車が多く、進行阻害が発生

